

『雨かな、晴れかな、曇りかな』 寸評

- ・2小節ごとに四分休符で一旦停止するのがおもしろい効果を生んでいる
- ・舞曲の印象を受けるもしくは「明日天気になあれ」
- ・どこが主旋律ともみさだめられぬにぎにぎしさ
- ・全体へのめくばりはかんじとれる
- ・タイトル、3つのならび順がとてもよい

完成度をさらに上げるために

- ・イレギュラーな編成でもアンサンブルなのでグループ括弧は全楽器をまとめよう
- ・チューバとファゴットでは音量感がまったくちがうので音域を交錯させない方がみとおしはよくなる
- ・各楽器の演奏を念頭においてアーティキュレーションとスラー、またフレージングやクレッシェンド等にトコトンこだわろう
- ・その結果この部分がより好きとか、書いてある音符にもさらに手を加えようとか作者本人のこだわりがより音楽に反映されていく（はず）
- ・たとえば m.11-14 Fl.にこだわってみる↓



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

作品の美点をトコトン知らしめてやろう!

持巻 勉